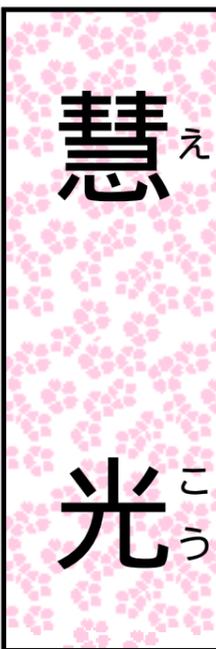




逆光を受け、みのりの稲穂を背景にススキの穂 (10月8日)



金光寺寺報
第160号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
0982
83-2338

今月のことば

ただ念仏せよ 念仏せよ 大悲回向の 南無阿弥陀仏

この言葉は、梅原真隆和上の歌集『雑華雲』に収められた一首です。ただ念仏せよとは、ただこのことひとつ、お念仏よりほかに私の救われていく道はないよ、という意味合いです。

普通一般的に宗教と言え、こちらから神さまや仏さまをお願いして助けてもらうことだと思われています。ナモアマダブツを祈りの言葉のように誤解している方が多いのです。ところが、浄土真宗のお救いは、阿弥陀さまからの一方的なお救いです。私の思いや計らいには一切用事がなく、すべてが阿弥陀さまの他力(ひとり)で救われていきます。何故か。そうでなければ救われようのない私の姿がそこにあるからです。

私が救われていくに必要なすべてを弥陀の名号「ナモアマダブツ」に込めて、私に届いてくださっています。私がお念仏申す時、私に念仏させよう

とする阿弥陀さまのお手まわしが、すでにあつたのです。この如来さまのおはたらきを本願力回向とも大悲回向とも申します。世にこれほどのお慈悲があるのでしょうか。

念仏申すということは、「安心せよ、引き受けたぞ」とおっしゃる阿弥陀さまのお喚び声であるとともに、「ようこそ阿弥陀さま」と、私の頭が下がり切った相でもあります。

その仏さまのお誓いは、聞いて来いではありません。称えて来いでもありません。「聞こえる仏となって救うぞ」、「称えられる仏となって救うぞ」と、全てが仏の手元で仕上げられて凡夫のところに出かけて行って、抱いてかかえてはたらく「ナモアマダブツ」となってくださいました。

(本願寺出版社刊「大乘」誌より転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の期日は緊急を除き、仏事は休ませていただきます。ご協力をお願いいたします。

記

- 10月 19日 宮崎教区仏教壮年大会
- 11月 1日 法事(宮崎市)
- 28日 仏前結婚式準備
- 29日 仏前結婚式
- 12月 8日 仏具磨き準備
- 9日 仏具磨き
- 14日 報恩講準備
- 15日 報恩講
- 16日 報恩講

9月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2014年	9月	1日	寂時	満91歳
スクナ原	甲斐		男	様
2014年	9月	6日	寂計	満86歳
道の上	古小路			様
2014年	9月	30日	寂勝	満67歳
長峯	梶本		夫	様

ホームページ開いています。
URL <http://konkhoji.jp/>
10月9日現在 アクセス数 74,816人

昨日八日は二十四節気の一つ「寒露」でした。十月は空気中の水蒸気が多く、気温が下がるのでその水蒸気が露となるのだそうです。いよいよ朝露に濡れないように長靴を履く季節到来です。また、皆既月食も見ることができた日でした。私は境内で東の空を眺めたのですが、だんだん地球の影に入っていく、次第と赤くなっていく月を見て感動しました。初めての経験でした。おまけにノーベル物理学賞を日本人三人の研究者が前日受賞し、そのマスコミ報道にわいた日でもありました。ノーベル賞受賞の割合は総数二十二人のうち理系が十九人、文系が三人。文系が片身の狭い状況ですが、ここ数年は常に村上春樹氏が文学賞の候補です。どうなることでしょうか。そのノーベル賞に関する新聞記事で哲学者三木清氏の言葉を知りました。人生においては何事も偶然である。私がお寺に生まれただけの偶然であり、また必然だったのかと考えた新聞記事でした。(住職 松井卓郎)

住職ひとりごと

仏教用語豆辞典

寿命 じゆみょう

アメリカ疾病対策センターの発表によると、平均寿命は先進三十三カ国中、日本が第一位だそうです。以下、スイス、アイスランド、スウェーデンと西欧の高福祉国が並んでいますが、日本は飛び抜けて高いと指摘さ

れています。死亡率もつと低く、まさに、日本は世界一の長寿国です。仏教では、生命のことを「壽命」とか「命根」といいます。この世に生まれてから死ぬまでのあいだ持続し、体温(暖・冷)と意識(識)とを維持するものです。寿は暖・識を維持し、暖・識はまた寿を維持し、両者は相依の関係で、死ぬときにはこの寿・暖・識が肉体から去ると説明しています。その寿命の長さを寿量といいますが、時代と自然によって、

人の寿命には長短の差があるといいいます。『阿彌陀經』には「かの仏の壽命およびその人民も無量無辺阿僧祇劫なり。ゆえに阿彌陀と名づく」とあり、阿彌陀の壽命は限りなく、無量寿なのです。日本は世界一の長寿国ですが、お年寄りが多い世界一生き甲斐の持てる国にしたいものですね。(本願寺出版社発行 辻本敬順著 「仏教用語豆辞典」一〇〇ページから)

ありのままの私の姿

凡 夫

親鸞聖人は仰せになる。

凡夫といふは 無明煩惱われらが身にみちみちて 欲もおほく いかり はらだち そねみ ねたむところおほくひまなくして 臨終の一念にいたるまで とどまらず きえず たえず

凡夫は、命終わるその瞬間まで、煩惱から離れられないものを言う。すべてのことを私中心にみて争いをおこし、欲望・怒り・妬みに、心と身体を悩ませ苦しみ続ける。

仏法に出あうとき、煩惱に満ちみちている凡夫は、他の誰のこともなく、この私のことと気づかされる。念仏申すひぐらしの中に、ありのままの私の姿を見せていただく。

(『拝読 浄土真宗のみ教え』中 八、九頁)

十月に入り、秋らしい気候になってきましたね。気持ちのいい秋晴れは身も心も晴れやかにしてくれます。

ただ、台風の影響が心配です。十八号はそう影響もなく過ぎ去りましたが、十九号は猛烈ないきおいの台風です。東の方に方向転換してくればと思っております。この寺報がお手元に届いた頃には結果が分かっていることでしょう。

先月号で『拝読 浄土真宗のみ教え』という本願寺発行本の「お彼岸」という法話を掲載したのですが、この本には他にここで掲載している「凡夫」とか「他力本願」とか、分かりづらい浄土真宗のみ教えを分かりやすく法話にしてあります。これから折にふれて紹介していきたいと思えます。

あらためて今月号は「凡夫」という法話です。台風のことを冒頭書きましたが、私たちは「自分のところに台風が直撃しなければい

いのになあ」という自分中心の考えしか起こしません。テレビ報道などで台風がよその市や町・村を直撃し大きな被害を与えたことを知っても、ただ「かわいそうね」と他人事で済ませて終わりです。

私たちはそんな心しか持ち合わせていないのです。人の不幸を我が事としてとらえることができません。それは自分さえ良ければいいという愚かな煩惱のはたらきです。

親鸞聖人は真実の教えに出会い、わが身にみちみちた煩惱は死ぬ瞬間(臨終の一念)までそのはたらきは止まることなく、消えることなく、絶えることがないことに気づかれました。

しかし、煩惱を持ったままでは救われない私を、必ず救うと誓われた如来さまが久遠の昔から見守り、支え、「必ず救うその身をまかせよ」と喚び続けておられることをお知りになり、その慈悲に帰依していかれました。

それが南無阿弥陀仏という声の仏さま阿弥陀如来です。

法語の世界

《原文》

南殿にて人々寄合ひ、心中をなにかとあつかひまうすところへ、前々住上人御出で候ひて仰せられ候ふ。なにごとをいふぞ。ただなにごとにあつかひも思ひすて、一心に弥陀を疑なくたのむばかりにて、往生は仏のかたより定めましますぞ。その証は南無阿弥陀仏よこのうへはなにごとをかあつかふべきぞと仰せられ候ふ。もし不審などを申すにも、多事をただ御一言にてはらりと不審はれ候ひしと云々。

(蓮如上人御一代記聞書 百七十三)

《現代語訳》

山科本願寺の南殿に人々が集まり、ご法義をどのように心に受けとめるかあれこれと論じあっているところに、蓮如上人がおいでになつて、「何をいつているのか。あれこれ思ひはからうことを捨て、疑いなく弥陀を信じおかせするだけで、往生は仏よりお定めくださるのである。その証拠は南無阿弥陀仏の名号である。この上、いったい何を思いはからうというのか」と仰せになりました。「このように蓮如上人は、人々が疑問に思うことなどをお尋ねしたときも、複雑なことをただ一言で、さらりと解決してしまわれました。

2014(平成26)年 恩講・秋参り日程(予定)のお知らせ

本年の恩講・秋参りの日程についてお知らせします。恩講の期日が未定の地区(倉本、古賀西)は早目に日程の相談をお願いします。秋参りは過去の状況を参考に大まかな予定をたてました。あくまでも予定です。葬儀、仏事や恩講が入りますと日程を変更します。遠方(熊本市、益城町、阿蘇市、高千穂町、延岡市、日向市、宮崎市)と渡瀬、中入・大平、山都町の秋参りは八ガキでお参りの日を連絡します。お茶の接待はご遠慮申し上げます。

恩講		秋参り	
10月14日	古賀東	10月14日午前	協和・長崎
22日	大石の内	午後	一の瀬
25日	波帰	15日	小切畑、芋の八重、祇園町
26日	折立・深谷・矢惣園	16日	祇園町、芋の八重、矢惣園上
11月9日	広瀬	17日	丁子、中村、笠部
12日	小川	20日	中園、東光寺、寺村
17日	本屋敷	23日	東光寺、寺村
18日	水流・木合屋	27日	予備日
19日	長峯	28日	予備日
20日	揚	29日	予備日
22日	スクナ原・原尾野		
23日	荻原の上		
24日	道		
12月4日	荒谷		